



# 令和7年 7月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—  
元気な子ども  
明るい子ども  
考える子ども  
思いやりのある子ども

園長 東 美和

## ～絵本との出会い～

梅雨と思えないほど晴れた日が続いています。その中で子どもたちが楽しみにしていたプール遊びが始まりました。先生と一緒に楽しく遊びながら、水に触れる心地よさを感じているようです。

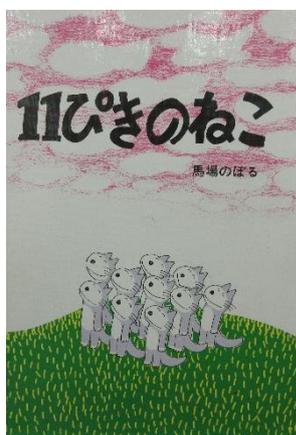
さて、『11ぴきのねこ』（馬場のぼる/著 ポプラ社）という絵本をご存じでしょうか。私はこの絵本に出てくる“とらねこ大将”が大好きです。先日11ぴきのねこが描かれているシャツを着ていたところ、年長組のある子が「とらねこ大将だ。私この本好き～」と話してくれました。年少組の保育室に行くと、「僕この絵本知ってるよ！」と言う子がいました。そして、ある保護者の方から「この絵本、うちの主人が大好きなんです」と声をかけられました。ご主人は子どもの頃にこの絵本で劇遊びをしたことがあるそうです。

新しい絵本がたくさん出版されている昨今、この絵本は初版が1967年で50年以上に渡って親しまれています。とらねこ大将率いる腹ペコの11ぴきのねこたちが、力を合わせて大きい魚を捕まえるお話で、ちょっぴりずるいねこたちの行動に、親しみとおもしろさを感じます。子どもたちは絵本の楽しさを感じているお家の方や先生に読んでもらうことで、「この本大好き！」になるのではないのでしょうか。

皆さんは子どもの頃、どんな絵本を読んでいましたか。小学校の頃は読んでいても中学・高校と成長していき、絵本と離れていたことでしょうか。保護者となって久しぶりに絵本と“再会”を果たした方がほとんどかと思えます。お家の方たちにとっては“懐かしい絵本”でも、子どもたちにとっては“新しい絵本との出会い”になります。

他にも昔から読まれている絵本はたくさんあります。江戸川区内は大きい図書館がたくさんあります。夏の暑い日、ぜひお子さんと一緒に涼しい図書館で絵本との出会いを楽しんでいただけたらと思います。

【子どものころ、読みましたか？】



11ぴきのねこ 馬場のぼる/作  
ポプラ社 1967年発行



ぐりとぐら  
中川李枝子・大村百合子/作  
福音館書店 1963年発行



からすのパンやさん かこさとし/作  
偕成社 1973年発行